

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部文化学科
学年(出発時)	3年
大学名	國立高雄師範大学
国	台湾
留学期間	2015年 2月 24日 ~ 2016年 2月 24日
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	
10:00	授業
11:00	授業
12:00	授業
13:00	昼食
14:00	
15:00	自習
16:00	自習
17:00	
18:00	
19:00	夕食
20:00	友人と過ごす
21:00	友人と過ごす
22:00	帰宅
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
民俗與文化專題	2	2	中国語	民俗文化についてレポート
書法	2	1	中国語	様々な字体の毛筆の練習、試験
現代歌詞創作	2	2	中国語	歌詞の創作、試験

大学のサポート	
チューターの有無	有
チューターのサポート内容	様々な手続きのサポート
語学コースの有無	有
コース名、料金、期間等	言語センターで平日3時間

生活	
住居のタイプ	宿舎
住居の名前	蘭苑
部屋タイプ	4人部屋
ルームメイト(国籍)	中国、韓国、ベトナム
室内設備	浴室、トイレ
共用施設	洗濯機、ウォータークーラー
インターネット設備	自分でケーブルを買ってつなぐ
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	
Visa申請先	外僑居留証
Visa取得にかかった日数	一週間
Visa取得にかかった費用	1000元(約4000円)
Visa取得方法、提出書類等	(1) 居留ビザ (2) パスポート (3) 写真: 2枚(4cm×5cm、6ヶ月以内に撮影したもの) (4) 在学証明書
留学先大学の最寄り空港までの経路	MRTで直接
渡航費用	約25000円
ピックアップサービスの有無	有

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	一年の遅れ
有る場合、その理由	卒論、就活
就職活動開始時期	3月1日
帰国後の進路	就職

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	4円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	20万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	
宿舍費(月額)	8000円
光熱費(月額)	1000円
食費(月額)	2万円
その他	
留学期間中にかかった費用の合計	60万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

学習の部分では、毎日朝3時間授業がありクラスもレベルによって分かれていたのでとても効率よく自分のレベルに合った中国語を学ぶことができました。生徒数も1クラス10人前後と少数で、先生が全員の生徒をしっかり見ることができる環境だったので発言も比較的しやすく、リラックスして授業を受けられました。また授業以外でも毎日台湾人の友達と行動を共にすることで常に中国語を学べる環境ができ、授業で学ぶのとはまた違った生きた中国語を学ぶことができました。このような学習を経て、現地で行われている外国人向けの中国語能力テストである華語能力測驗で、5級の取得に成功しました。また食生活の部分では味が日本と比較的似ていたのであまり苦労はなく、物価も日本と比べて安いので食費はあまりかかりませんでした。また大学の近くにたくさんのレストランがあったのでとても便利でした。しかし宿舎にはキッチンの設備がないので毎日ほぼ外食になってしまいました。台湾では食材を買って一から料理を作るとなると外食をするよりも費用がかかってしまいます。台湾での外食はそのくらい安くて便利なので台湾人のほとんどは家で料理をせず、外食で済ませることが多いようです。交通の部分では学校の近くにMRTの駅があったのでそれを使って移動していました。基本的にMRTの駅の近くは商業施設が多く集まっているので駅を降りたらすぐ遊びに行けるという感じでとても便利でした。また台湾人はほとんどが原付を持っていてそれを交通手段としています。なので時には友達に後ろに乗せてもらって遊びに行くということもありました。このように一年間特に困ったことはなく、とても楽しく過ごすことができました。台湾人の友達もみんな優しい方ばかりで何か難しい手続きなど分からないことがあるとすぐに助けてくれました。この一年間、学習面で成長できただけでなく人間的にも大きく成長でき、人生においてとても貴重な経験をすることができました。

今後留学する人へのアドバイス

学校の学習はもちろんですが、それ以外にも台湾人の友達をたくさん作り一緒に遊びに行くことをおすすめします。そうすることによって会話をする中で自然に中国語を学ぶことができ、また教科書には載っていない独特の言い回しなど日本での中国語授業では学べないようなことも勉強できます。私は、現地でしか学べないことを学んでくることにこそ留学の意味があると考えているので普段も他の日本人とはあまり行動を共にせず、できるだけ台湾人の友達と一緒にいるようにしました。その甲斐もあって中国語能力が目に見えるように進歩していったので、今後留学する皆さんにもできるだけ現地の人と行動することをおすすめします。

報告書記入日

2016/3/5